

# 西光寺だより

第六号 平成二十三年二月一日発行

新年を迎えてから早くもひと月が過ぎました。寒い日が続くと春の訪れを待ち遠しく感じますね。

それでも、きつと土の中では近づく春を迎えるために草や木が根を張り、たくましく息づいていることでしょう。そして、三月にもなると芽を吹き、暖かな春には花を咲かせ、その美しい姿を私たちに見せてくれます。草木の春の美しさは、寒い冬を生きぬいてきたからこそその美しさなのでしょうね。

わたくしたちは心の寒いとき、どのように在ることが出来るでしょうか。冬を越す草木に学ぶところがありそうです。

## ●今月のことば●

### 『星とたんぽぽ』

青いお空の底ふかく、海の小石のそのやうに、

夜がくるまで沈んでる、 昼のお星は目にみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、 見えぬものでもあるんだよ。

散つてすがれたたんぽぽの、 瓦のすきに、だアまつて、

春のくるまでかくれてる、 つよいその根は眼に見えぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、 見えぬものでもあるんだよ。

「金子みすゞ 詩集より」

## ◆先月の報告◆

一月一日午前十時より、西光寺本堂にて元旦会が行われました。皆で正信偈をお勤めし、住職より新年のご挨拶をさせていただきました。毎年のごことはいえ新年を迎えるにあたり、ご門徒の皆様とともに元旦会を迎えられることは本当にありがたいことだと感じながらお勤めさせていただきました。

元旦会ではお伝えさせていただきましたが、本年は、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要ならびに住職継職奉告法要を厳修させていただきました。

これらの法要におきまして、各総代様にはすでにご尽力いただいております。誠にありがとうございます。

皆様には後述の「お知らせ」にてご報告させていただきます。



2011年元旦会 西光寺本堂にて

## ◆お知らせ◆

### ○親鸞聖人七百五十回大遠忌法要ならびに住職継職奉告法要について

昨年十一月二十三日、西光寺報恩講法要の際に西光寺講総会を開きました。そこで、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要ならびに住職継職奉告法要における事項が話され、本年一月の役員会において四月三日の開催を決定いたしました。

また、一月十五日・二十九日の役員会にて具体的な法要内容が決まり、皆様へのご案内を作成いたしました。

この場をかりて皆様にご報告させていただきます。

四月三日にむけて法要が無事厳修される様、力を尽くしてまいりますので、どうぞ皆様、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### ○「宗祖讃仰作法」練習会について

四月三日に厳修される親鸞聖人七百五十回大遠忌法要ならびに住職継職奉告法要のお勤めは、「宗祖讃仰作法」です。

「宗祖讃仰作法」は、今回の親鸞聖人七百五十回大遠忌法要のために新たに定められた作法です。浄土真宗のみ教えを多くの人びと共に讃仰するために定められたこの作法を、皆様とお勤めさせていただきたいと思っております。

つきましては、今月から西光寺本堂にて練習会をはじめますので、どなたでもご自由にご参加ください。

経本は西光寺でご用意いたします。

日程は下記のとおりです。

## 「宗祖讃仰作法」練習会 日程

二月二十七日（日）、  
三月六日（日）・十三日（日）・二十日（日）・二十七日（日）  
いずれも午後二時～三時です。

### 📬あしがき📬

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要ならびに住職継職奉告法要を厳修するにあたりわたくし新任職 櫻井 善紀より一言ご挨拶させていただきます。

前任職である父櫻井 善成が亡くなり、わたくしにとつてこの法要が新たな人生の第一歩となります。本山においても親鸞聖人七百五十回大遠忌法要がご修行されるこの大切な時期に住職を拝命するにあたり、あらためて責務の重大さを感じているところであります。

まだまだ若輩者ではございますが、今の自分にできうる限り精一杯の気持ちで四月三日を迎えたいと思っております。それには、皆様のお力があつてこそその事でございます。これからご協力を賜ることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。 合 掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>